「これを読んでくださいよ。そして、唖然としてください」

配達あかずきん 成風堂書店事件メモ



大崎 梢 (おおさき こずえ) /著 東京創元社 269p F/t

ある駅ビルの中にあるごくごく普通の書店・成風堂。そこに勤めるしっかり者の書店員・木下杏子と、勘の鋭い大学生のアルバイト店員・西巻多恵。このふたりが、書店を舞台にした数々の謎を解き明かしていく。元書店員である作者が紡ぐミステリ小説。

「生徒の成長にかかわることができるのが、学校司書の喜びかな」

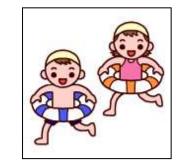
しごと場見学! 書店・図書館で働く人たち



戸田 恭子(とだ きょうこ)/著 ペりかん社 153p 02/ト

私たちが日々の暮らしの中で利用する場所や施設にはどんな 仕事があるだろう? この著書では、書店や図書館の内部がど うなっているかの解説や、実際に書店や図書館で働く人たちの インタビューも掲載。普段、書店や図書館を利用しているとき には気付かなかったことが発見できる1冊。





Teens向き

2019年夏休みすいせん図書

夏休みは、しっとり読書!! 大磯町立図書館

「君は――天才ですよ。たくさん書いてほしいな」

文豪たちの友情



石井 千湖 (いしい ちこ) /著 立東舎 254p 910.2/4

川端康成、夏目漱石、国木田独歩、芥川龍之介、菊池寛、太宰治、坂口安吾、泉鏡花、中原中也、谷崎潤一郎など。明治から昭和時代にかけての文豪たちの友情にまつわるエピソードを、本人や関係者の言葉から紹介。彼らの出会いから別れまでの軌跡をたどる友情物語。

「コペル君、勇気を出して、いま君のすべきことをするんだ」

君たちはどう生きるか



吉野 源三郎(よしの げんざぶろう)/著 マガジンハウス 318p 15/3

貧困、いじめ、勇気、学問……。今も昔も変わらないテーマに 人間としてどう向き合うべきか。15歳の少年・コペル君が、 友人と接することや、叔父さんと対話を続ける中で、人間とし てあるべき姿を追い求める。1937(昭和 12)年の発売以来、 長く語り継がれてきた名作の新装版。 「残念だったな。ツテナはやはり、俺が守るよ」

邪馬台戦記 |

闇の牛王



東郷 隆 (とうごう りゅう) /作 佐竹 美保 (さたけ みほ) /絵 静山社 279p F/k/1

3世紀初頭、弥生時代最後期。ウクイ村には暗い影がさしていた。卑弥呼の治める女王国に従わず、近隣諸国から税を取り立てるクナ国は、生口(奴隷)として少年少女をさらっていく。 12歳となった少年・ススヒコは、幼馴染の少女・ツテナが生口となることを知り、自らも名乗りをあげ、クナ国へ向かう。歴史冒険小説。

「頼む。ただの試合じゃないんだ。こいつには、人の命がかかっている」

いちご同盟



三田 誠広 (みた まさひろ) /著 河出書房新社 226p F/ミ

中学三年生の北沢良一は、同級生の野球部のエース・羽根木徹 也を通じて、重症の腫瘍で入院中の少女・上原直美を知る。徹 也は対抗試合に全力を尽くして直美を力づけ、良一もよい話し 相手になって彼女を慰める。繊細な少年少女の恋愛と友情、生 と死を描いた長編小説。



